


オランダとフランスの精液ストローの 流通とバーコードシステム

オランダ(HG社)の精液ストロー

表



HO 974803 PASCAL NL334319627 614969 NL1109

HO 974803 PASCAL NL334319627 614969 NL1109

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①ホルスタイン種、②HG社の種雄牛番号、③種雄牛の名前(パスカル)

④「国(NL:オランダ)」及び「個体識別番号(334319627)」

⑤「採精日」及び「その日の採精した種雄牛の順番」

〔 上4桁(6149)は採精日「2006年5月29日」を表す。
(2006の末尾の6+1月1日から通算日の3桁(149日目))
下2桁(69)は、その日採精した種雄牛の順番を表す。 〕

⑥国の施設番号

(NLはオランダ、上2桁(11)はHG社、下2桁(09)は施設番号を表す)

裏



097HO04803

バーコード 097 HO 04803(バーコード番号)

(i) (ii) (iii)

(i)は上記②の最初の2桁(事業体コード)の前に0をつけたもの。

(ii)は上記①のホルスタイン種。

(iii)は上記②の下4桁の前に0をつけたもの。

フランスの精液ストロー

04126 FRCB441 FR4497020083 1234567890 HO NORUEGE CA

04126 FRCB441 FR4497020083 バーコード 1234567890 HO 名前
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

①採精日「2006年4月12日」、(上4桁が月日、下1桁が年号を表す。)

②人工授精センターの番号

(FRはフランス、CBは畜種(牛)の記号、上2桁(44)は県番号(ロワール=アランティック県)
下1桁(1)は採精施設番号を表す。)

③種雄牛番号(FRはフランス、10桁の数値は個体識別番号)

(フランスの個体識別番号は12桁であるが、始めの2桁(00)を省略して記載。)

④バーコード

⑤バーコード番号

[上5桁は畜産研究所から与えられた国の種雄牛番号、続く4桁は採精年日(2002年
1月1日からの通し日付)、下1桁は分割番号(9種類ある検査のうち実施した検査数)]

⑥ホルスタイン種

⑦種雄牛の名前(ノベージ)、CAはそれに続く名前の頭文字

精液ストロー・バーコードシステムのメリット

- ・手書き記載がなくなるので、証明書作成に係る人為的ミスが減り、トレーサビリティの確実性・信頼性が高まる。
- ・人工授精を行った者から、オンラインでストローの使用報告がなされることから、流通管理が容易になる。
- ・PCへデータ転送しておくことにより、人工授精時に作成する証明書の作成時間が短縮し、作業効率が向上する。
- ・授精日時・回数などのデータが自動的にPCに蓄積され、農家指導のための情報として活用できる。
- ・受胎率向上のための希釈液の改善等、新技術のフィールド応用の結果をリアルタイムに把握することが可能になる。 等

注)オランダとフランスの家畜人工授精事業者等からの聞き取り